

事業評価書

補助事業名	百里飛行場関連特定事業：実践的英語能力育成事業基金								
補助事業者名	行方市								
実施場所	行方市内小中学校及び幼稚園								
補助事業の成果の目標	市内の小中学校及び幼稚園への外国語指導助手の配置、英語を用いてコミュニケーションを図る機会の創出等を通じて、聞く力、話す力といった実践的な英語能力の育成を図る。 【参考指標】 学校数 10か所 小学校 4校 中学校 3校 幼稚園 3園 児童生徒等数（令和2年5月1日現在）計2,284人 小学校1,448人 中学校750人 幼稚園86人								
補助事業の内容	令和元年度に造成した基金を運用し、令和2年度から任用及び委託した外国語指導助手の報酬及び派遣委託料に充当した。 【主な内容】 会計年度任用職員報酬、外国語指導助手派遣委託料								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：令和元年度から令和4年度まで 基金の処分：令和2年度から令和5年度まで								
事業費及び 交付金額	基金造成額（A）						基金処分 額（B）	基金残額 （A）-（B）	継続事業 に要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
	1	円 25,000,000	円 0	円 0	円 0	円 25,000,000	円 0	円 0	円 0
	2	円 10,000,000	円 0	円 0	円 0	円 10,000,000	円 14,000,000	円 21,000,000	円 18,561,638
	計	円 35,000,000	円 0	円 0	円 0	円 35,000,000	円 14,000,000	円 21,000,000	円 18,561,638
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 令和2年度においては、小学校4校、中学校3校及び幼稚園3園に7名（小中学校それぞれ1名）を配置し、年間のべ1,296日の勤務実績により、児童及び生徒2,284人に対して、英語を用いたコミュニケーションを図る機会を創出し、聞く力、話す力といった実践的な英語能力の育成を行った。 今後、令和3年7月を目途に、「将来英語を話せるようになりたいと思う児童生徒の割合」について、外国語科（英語）を学習する児童生徒を対象に調査を行い、成果を測定する。 【参考指標】 2018年10月調査結果 （小学校 5・6年生） 88％ （中学校 1～3年生） 83％ 〔地域住民への周知の実施状況〕 市ホームページにおいて、常時周知する。								
事業の改善措置 及び今後の対応	新型コロナウイルス感染症により対面によるコミュニケーションにリスクが避けられる状況であるからこそ、児童、生徒及び園児にとって学校における実践的な英語能力を育成する機会は貴重なものであると考えられることから、外国語指導助手の配置に加えて、十分な感染症対策を取った上で、実際の生活場面を想定した参加型の体験的な英語学習を実施する。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								